

社会福祉法人東原福祉会 経営デザインシート（理事長作成、2025年を想定）

将来構想のキャッチフレーズ

子どもの潜在能力を引き出すために 親子と園が共に成長する場

これまで どうだった？

資源

園の施設
ベテラン（3名）を含む保育士
完成度の高い行事のプログラム・運営ノウハウ
地域の評判(口コミ)
指導計画・保育計画の蓄積

ビジネスモデル

一人ひとりをきめ細かく見る保育（×集団保育）
信頼関係を築いて園児の潜在能力を引き出す

提供価値

園児の成長（小学校につなぐ、健康で自立した社会生活を営める子ども）
園児の成長を見た親の変化

課題

園内の意識共有が不十分
対外的な情報発信・理解の拡大

2025年には こうしたい！

資源

これまでの資産 + 理念に沿った安定的なサービスを提供する手法（マニュアルetc.？）

ビジネスモデル

これまでのビジネスモデル + 親子関係に不足している要素を提供（朝食、食育etc.）

提供価値

園児＝潜在能力を引き出す(特に非認知能力)
親＝成長イメージを共有して教育の方向性を明示→子育ての方法や考え方を理解させて成長の機会を提供
社会＝非認知能力を高める園児の教育モデルを示す

外部環境

こども園への転換の加速、保育園のマイナー化
保育のニーズ拡大（：女性社会進出etc.）

2025年に向けていまからどうするか

- ・理想と現実の差異を認識し、対処方法を考える（マニュアル化、ルール化、研修etc.）
- ・これまでの取組みで蓄積されたコンテンツを活かした新しいプログラムの開発（食育、朝食メニュー、父親の子供との遊び方etc.）

社会福祉法人東原福社会 経営デザインシート（主任作成、2030年を想定）

将来構想のキャッチフレーズ

すべての子どもに豊かな人生の基盤を！

これまで
どうだった？

資源

園舎・遊具
人材（職員）
地域コミュニティとのつながり
近隣の小学校とのパイプ

ビジネスモデル

保育の提供
地域との交流
近隣の小学校との連携・情報交換
「質」の向上を目指し研修等を強化

提供価値

親：安心して子供を預けられる
子供：食育等による成長の基盤作り
地域：世代間交流

課題

職員間の意識のばらつき
向上させる「質」とは何か明確ではない

2030年には
こうしたい！

資源

これまでの資産
+
新しい保育のアイデアとプログラム
資金（朝食代etc.）
社会の理解とコンセンサス（親の役割etc.）

ビジネスモデル

親子関係を深めるための啓発活動・プログラムの提供（企業での研修、父親の料理教室、レシピ提供、一日保育士etc.）
家庭環境で不足するものを補うサービス（学童保育、朝食の提供etc.）

提供価値

親の子供に対する関心を高め、親子関係を深める
家庭環境に恵まれない子供と他の子供との間に生じる差を埋める

外部環境

ダイバーシティの加速（格差、外国人、本土からの移住etc.）
親子関係の希釈化（スマホの影響etc.）
従来の福祉施設としての枠が取り払われ、保育の自由度が増す

2030年に向けていまからどうするか

- ・ 育児や保育に関する地域社会のコンセンサスを形成する → 企業経営者への働きかけや社員向け研修の提供etc.
- ・ 保護者の理解を得ながら新たなサービスを提供するための資金調達の仕組み作り → 保護者負担ではなく地域社会から協力者を募る（クラウドファンディングetc.）
- ・ ビジョンを示して職員の理解と共感を得る